



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

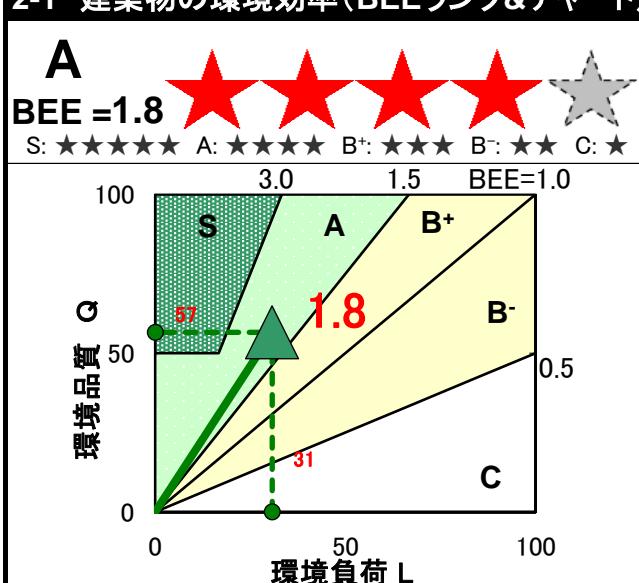
1-1 建物概要

建物名称	大阪ガス西島地区CNRH新研究開発施設新築工事(仮称) 新研究棟	
建設地	此花区西島5丁目	
建築用途	事務所	
建築主	大阪ガス(株)	
設計者	(株)安井建築設計事務所	
敷地面積	207,871.25	m ²
建築面積	7,846.73	m ²
延床面積	15,704.06	m ²
構造/階数	S造	/ 地上4階
完了年(予定)	2025年7月	

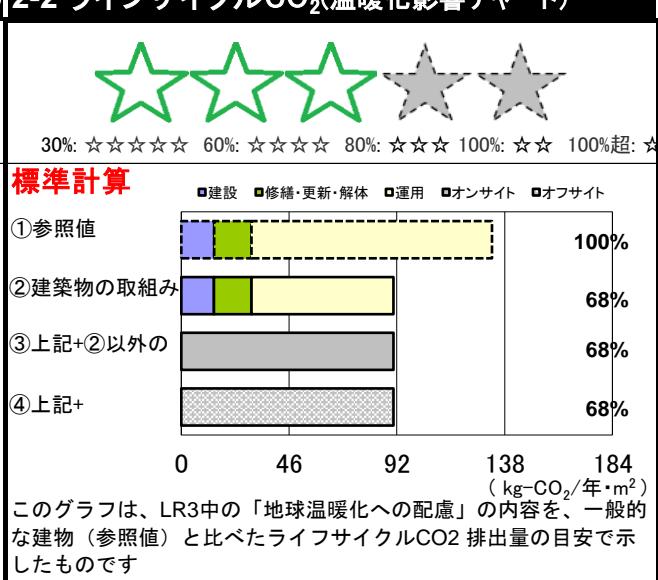
1-2 外観



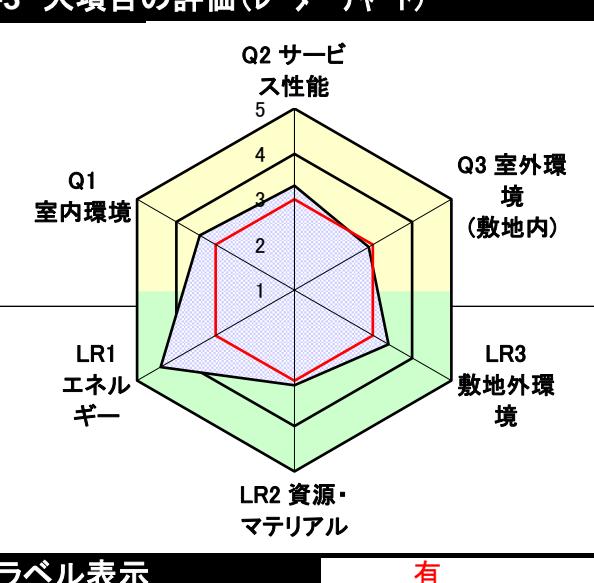
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

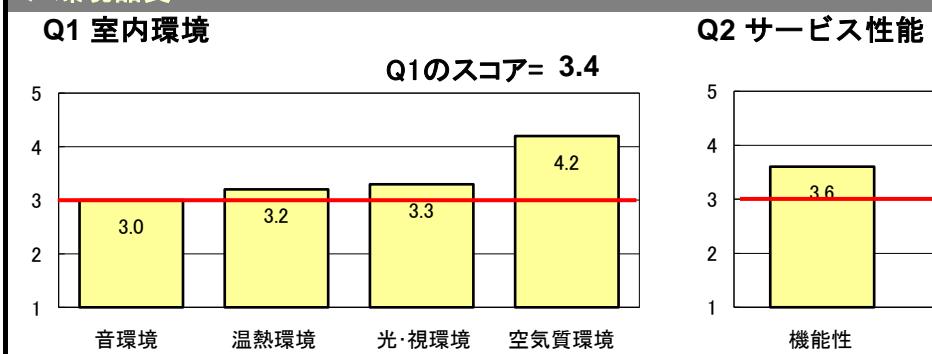


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

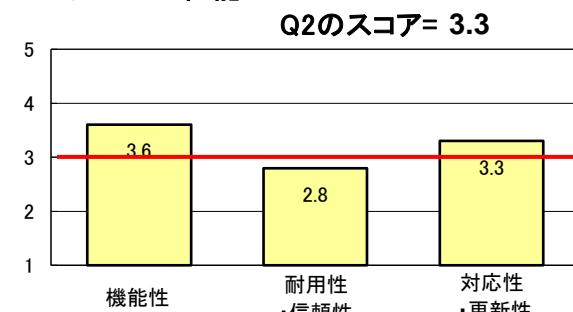


2-4 中項目の評価(バーチャート)

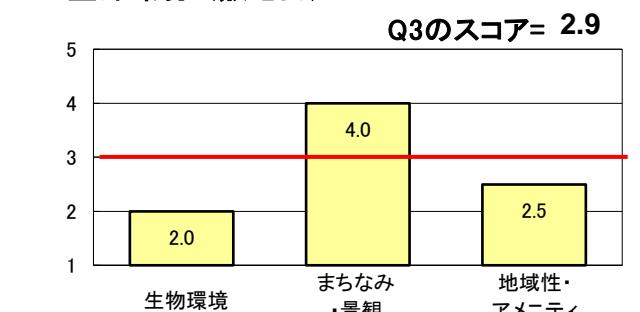
Q 環境品質



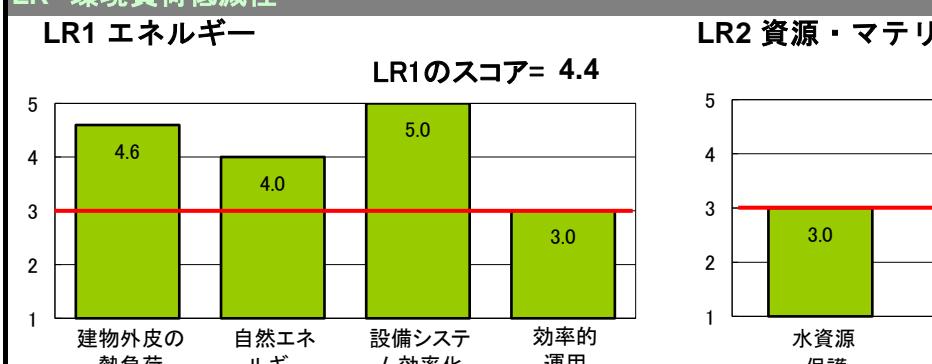
Q2 サービス性能



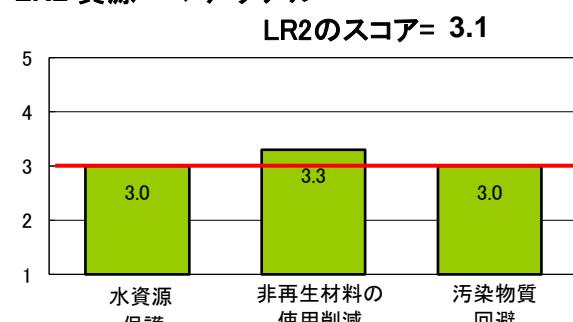
Q のスコア = 3.2



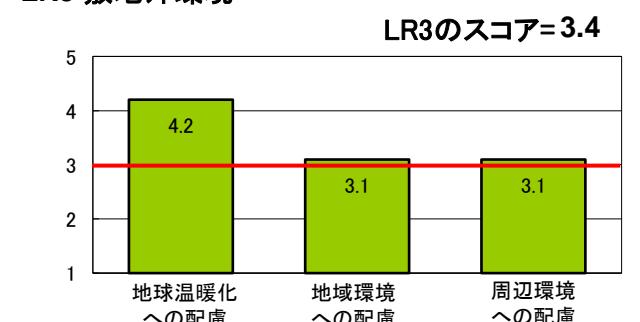
LR 環境負荷低減性



LR2 資源・マテリアル



LR のスコア = 3.7



3 設計上の配慮事項

総合

省エネルギー性の高い外皮及び設備を搭載した建築物であるだけでなく、資源・マテリアル消費の低減や、敷地境界線を越えて地球環境に及ぼす影響を低減する取組みを行うことで、環境負荷低減性に優れた建築計画となるよう配慮した。

その他

特になし

Q1 室内環境

高い外皮性能を持ち、室温制御や自然換気性能等にも優れ快適な室内環境を実現している。またほぼ全面的にF★★★☆を採用している。

Q2 サービス性能

執務・研究エリアや、社内外の交流・リフレッシュ・発信エリアについて、求められる用途に応じた内装計画を行ったほか、十分な広さ・天井高さを確保し、利用者が快適に過ごせる空間としている。

Q3 室外環境(敷地内)

緑地を多く有することで、建物利用者の憩いの場を計画し、景観への配慮も行っている。

LR1 エネルギー

建築外皮の性能や、建築物の設備における省エネルギー対策について配慮することで、建物外皮の熱負荷抑制・設備システムの高効率化を行い、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させた。

LR2 資源・マテリアル

LGS下地、OAフロアを採用している。

LR3 敷地外環境

風が通る余裕のある敷地利用計画としており、十分な駐車スペースの設置やごみ回収の計画も行っている。

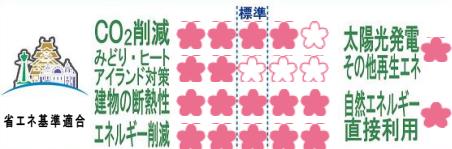
建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.8

ラベル表示

大阪市建築物環境性能表示

総合評価 ★★★★☆



評価は、CASBEE大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。

「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和5年度 №212

環境性能	評価点	
(1)CO2削減	4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	4.2	ライフサイクルCO2排出率68%
配慮事項	ウレタンフォーム断熱材を採用している。設備においても効率の良い機器を採用している。	

環境性能	評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0	外構緑化指数 18.24% を有する。
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	2.0	空地率 65.73% を有する。
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0	隣棟間隔指標Rw 3.13 を有する。
配慮事項	多くの緑化を採用している。	

環境性能	評価点	
(3)建物の断熱性	5.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.6	BPIm = 0.84
配慮事項	ウレタンフォーム断熱を使用している。	

環境性能	評価点	
(4)エネルギー削減	5.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0	BEIm = 0.59
配慮事項	設備効率の良い機器を採用している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) 対象外 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] 0.84
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.59	住宅部分[BEI] -
		非住宅部分[BEI][BEIm] 0.59